

平成 30 年 3 月 28 日

各 位

会 社 名	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
代表者名	代表取締役社長 高橋 順一 (コード：4952、東証第二部)
問合せ先	取締役管理部長 深澤 良彦 (TEL. 03-5825-5511)

横浜工場における火災事故の状況について（第三報）

平成 30 年 2 月 12 日（月）9 時頃、横浜工場（住所：神奈川県横浜市神奈川区恵比須町 8、工場長：佐々木 高治）にて火災事故が発生いたしました。

今回の事故に関しましては、お亡くなりになりました協力会社の方 1 名のご冥福をお祈り申し上げますとともに、その重大性に鑑み、社外の学識経験者及び専門家を招聘した事故調査委員会を設置し、詳細な事実関係の調査及び原因の徹底的な究明、並びに再発防止策と実行計画の立案を進めております。

かかる状況ではありますが、この度、事故の被害を受けていない製剤設備の再稼働及び製品出荷の再開が決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 製剤設備の再稼働について

横浜工場ではダコニール原体の製造及び農薬製品への製剤化を行っておりますが、製剤設備に関しては事故による被害を受けていないことから、製剤作業に対する十分な安全確認を行った上で、4 月 4 日から製剤設備を再稼働する予定です。

原体製造設備については事故調査委員会での原因究明と再発防止策の立案を実施した後に稼働再開へと進めてまいります。稼働再開時期は現時点では未定です。詳細が判明し次第、速やかに開示いたします。

2. 危険物製造所等使用制限命令の解除について

2 月 13 日開示の第二報において、横浜市より横浜工場に対しダコニール原体製造プラントの使用中止命令が出されたと公表いたしました。その後の情報として、正確な発令名称は屋外タンク貯蔵所に対する危険物製造所等使用制限命令でございますので、訂正申し上げます。

屋外タンク貯蔵所に対する危険物製造所等使用制限命令は 2 月 20 日に解除されております。

3. 製品出荷の再開について

4 月 4 日（予定）からの製剤設備再稼働に伴い、原体在庫を用いた国内向け製品出荷及び輸入原体を用いた海外向け製品出荷を再開いたします。

4. 業績に与える影響

操業を停止している施設の稼働時期、撤去及び復旧などに係る費用、販売を含めた事業への影響額及び保険収入を合理的に見積もることは困難な状況ではありますが、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本件が平成 30 年 3 月期当社決算に与える影響額として、本日開示いたしました「特別損失の計上、非連結決算への移行及び個別業績予想の開示に関するお知らせ」に記載のとおり、特別損失 155 百万円を計上します。

以 上